（評価項目一覧）

別紙

**【第一次審査】**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価項目 | 評価基準 | 評点 | 配点 |
| 認証資格の取得状況（※１） | 次のいずれかの認証資格を取得しているか。・情報セキュリティマネジメントシステム（ISO/IEC27001：2013）・プライバシーマーク | 10（5） | １０ |
| システム導入実績について（※2） | システムの導入実績１０自治体～　　　　　　・・・１０点５～９自治体　　　　　　・・・７点４自治体以下　　　　　　・・・３点 | ３～１０ | １０ |
| 導　入　経　費（※3） | １位　　　　２０点（最低見積金額業者）２位以下（最低見積金額業者見積金額／当該業者見積金額）×２０点 | ０～２０ | ２０ |
| 所在区分（※４） | 市内事業者・・・２０点市外（嶺北圏）事業者・・・１５点市外（嶺南圏）事業者・・・１０点県外事業者・・・５点 | ５～２０ | ２０ |
| 合計得点 | ６0 |

（※１）取得済の認証資格がなくても、いずれかの認証資格を取得申請中で、本システムの本稼働開始時期までに認証資格を取得する見込みである場合には、評点における（　）内の点数で評価する。

（※2）システムの導入実績は、電子回覧板システム導入を自治体と契約した実績に限定する。

　　　　事務組合、広域連合、特別区も１自治体とする。

（※３）評点に小数点以下の端数があるときは、これを切り捨てる。

（※４）「所在区分」は、障害発生時の迅速な対応という観点から、実際に障害発生時対応する者が在籍する事務所所在地を評価する。

**【第二次審査】**

１　主観評価・・・250点

・主観評価は５人の選定委員の平均点を算出し、判定する。

・項目ごとの配点は１０点又は２０点とし、ＡからＤの４段階で評価する。

（１）　全体的評価

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 主な着目点 | 配点 | 小計 |
| １　負担軽減 | ①自治会長等の負担なく、地区住民へのシステム導入が可能であるか。また、システム導入により自治会運営の負担軽減にどのようにつながるか。 | ２０ | ２０ |
| ２　システムの操作・視認性 | ①システムの登録方法が容易かつ操作画面は、見やすく、分かりやすいものであるか。 | 20 | ３０ |
| ②紙媒体とそれほど遜色なく、ページ送りや閲覧が可能であるか。 | １０ |
| ３　システムの機能性 | ①福井市、地区団体、自治会、地区住民の４者にとって、効率的な情報発信ネットワークの構築が可能となる機能を有しているか。 | 20 | ４0 |
| ②市が指定する仕様の他、効率的・効果的な機能を有しているか。 | 20 |
| ４　　継続性・柔軟性 | ①今後、継続して運用していくことが可能であると感じられるシステム、提案内容等であったか。 | 10 | 20 |
| ②システムのバージョンアップやメンテナンスが必要になった場合には、柔軟に対応できるシステム、業務体制であるか。 | 10 |
| ５　姿勢・熱意 | ①プレゼンテーション、デモンストレーションにおいて、明朗で分かりやすい説明がされていたか。 | 10 | 20 |
| ②熱意・意欲の感じられる提案（プレゼンテーション、デモンストレーション）が行われていたか。 | 10 |

（２）　セキュリティ対策

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 主な着目点 | 配点 | 小計 |
| １　安全対策 | ①不正アクセス等への対策は行われているか。 | 10 | ２0 |
| ②その他、情報セキュリティインシデントに対する十分な対策、体制の構築がされているか。 | 10 |

（３）　導入工程及び操作説明

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 主な着目点 | 配点 | 小計 |
| １　導入工程 | ①システム導入に向けてのスケジュールを遅滞なく進めることができる業務体制となっているか。 | 10 | 10 |
| ２　操作説明 | ①自治体及び地区団体、自治会管理者の不安を払拭する、適切な操作説明会の開催が予定されているか。また、既に同類の電子回覧等システムを利用する地区へのサポートが行われる体制となっているか。 | １0 | ２０ |
| ②自治体用、地区団体用、自治会用、地区住民用の簡潔かつ明瞭な操作マニュアル及び操作方法を示した動画が準備されているか。 | 10 |

（４）　障害対応及びサポート体制

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 主な着目点 | 配点 | 小計 |
| １　障害対応 | ①障害発生時に、速やかに対応、復旧できる業務体制となっているか。 | 10 | 10 |
| ２　サポート体制 | ①システム操作について疑義が生じた場合に、すぐに問い合わせ、問題解決ができる体制の構築がされているか。 | 10 | 10 |

（５）　将来性評価

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 主な着目点 | 配点 | 小計 |
| １　ランニングコスト | ①システムの導入が進み、地区住民への情報発信が下記条件となった場合の年間のランニングコストはいくらか。※利用予定世帯数：７８，０００世帯、１世帯につき平均１．２名の利用を想定 | ２０ | ２０ |
| ２　コスト削減効果 | ①削減された紙やコストについて、可視化することができ、システムの導入効果が確認できるか。 | １０ | １０ |
| ３　利用促進スケジュール | ①将来的なシステムの利用促進に向けて、具体的なアイデアを持っており、スケジュールも含め、提案されているか。 | ２０ | ２０ |

※ランニングコストの評価基準については、以下のとおりとする。

　・最低提案金額業者⇒「A」評価

　・最低提案金額業者以外

（最低提案金額業者提案金額／当該業者提案金額）％　としたときの割合が、

　　　９０％以上の場合⇒「B」評価

　　　８０％以上９０％未満の場合⇒「C」評価

　　　８０％未満の場合⇒「D」評価

≪「主観評価」評価基準≫

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価 | 判断基準 | 得点（配点が１０のもの） | 得点（配点が２０のもの） |
| A | 大いに評価できる | 10 | 20 |
| B | 概ね評価できる | 7 | 14 |
| C | あまり評価できない | 3 | 6 |
| D | 評価できない | 0 | 0 |

２　機能評価・・・１２０点　【様式第１０号】

　　・参加者の自己評価により提出された「【様式第１０号】機能確認表」を評価する。

　　　機能確認表に記載の内容については、第二次審査プレゼンテーションにて、必要に応じ

て確認する。